

「親の力」をまなびあう学習プログラム 展開案

(西)

作成班

1班

対象 (時間):

(50 分程度)

教材番号「27」:「向き合ってみて... ~ 「仕事」と「子育て」の調和のために」

【ねらい】

【準備物】 学習者:
主催者:

時間	活動の展開	留意点	備考
(5分)	<ul style="list-style-type: none"> 〇名札付け (未だ順に) 〇ファシリテーター (学習支援者) 自己紹介、主旨、ルール等の説明。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇全員が名札をつける。(ニックネーム可) 〇和やかな雰囲気(声)に配慮する。 〇写真撮影の場合は、事前の了解を取る。 	
	<ul style="list-style-type: none"> アスブレイク (雰囲気作り) 「パスゴイチェン」 	<ul style="list-style-type: none"> 〇初対面の人同士の場合、自由に意見と出し合おうのウォーミングアップとする。 →グループ分け この間に、ワークシートを配る。 	グループ数に応じて、机を配る。
(5分)	<ul style="list-style-type: none"> 〇タイトル、ねらいを讀む。 〈エピソードを讀み合う〉 〇参加者で、配役を決めて讀み合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇エピソードの約束(発言の平等、人の発言を肯定、教訓の保証)など、前回は確認しておく。 〇「親の力」の意見や、社会全体で子育てを育むことの大切さについて、丁寧に説明する。 	〇前回は、掲示しておく。
(15分)	<ul style="list-style-type: none"> 〈考えあひ合う〉 〇設問に記入し、話し合う。 〇③の設問の時、紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇エピソードに沿って話し合う。 ③に焦点を絞って話し合う。 * 周りへの協力依頼(1)ではなく、これは子育てが人々へ「自ら」協力できることについても含めて紹介。 	
(20分)	<ul style="list-style-type: none"> 〈考えあひ合う、出し合ひあひ合う〉 〇①を対等に書いて出し合う。(3分) 〇②の設問について、皆で考え、話し合う。(10分) 〇話し合ったことを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇「悩みや不安」を、付箋紙に書き、出し合ひながら、話し合う。 ①の問いについて、同僚等、周りの「子育て中の人」を見て「気がかたこと」「たいへんだった」と思うこと等、トクとも合わせて考えよう。 * 付箋紙には、1枚につき考えたいことを書く。 * 同じように意見をまとめる。 〇限られた時間の中で、子どもや家族と向き合うための工夫について考えよう。 〇子育て中の「親自身」ができることについて、トクとも「周りの協力」についても考えよう。 	〇大きな用紙に、記入者の名前を貼る。
(5分)	<ul style="list-style-type: none"> 〈学習を振り返りあひ合う〉 〇ワークシートに記入する 〇ファシリテーターの語。 〇終了、お礼、ワークシート記入 	<ul style="list-style-type: none"> 〇参加者全員で行う。 〇ワークシート記入者から流し解散。 	
〈メモ〉			

「親の力」をまなびあう学習プログラム 展開案

(西)

作成班 2班

対象(時間):

(50分程度) 参加人数 20名 グループ4 (5人ずつ)

教材番号「27」:「向き合ってみて...「仕事」と「子育て」の調和のために」

【ねらい】地域・家族・仲間など 皆の力を合わせて 子育てをしていくために、一緒に考えていこう。

【準備物】学習者:

主催者: 名札、ワークシート、アクト用紙、模造紙、付箋紙、フェルトペン

時間	活動の展開	留意点	備考
14:00 (5分)	名札をつける。 受け付けセンターを渡す。(グループ分け)	会場か名札をつける。 受け付けセンターを渡してグループ分けをする。	
14:05 (8分)	自己紹介、主旨、ルールなどを説明。 アイスブレイク 「私の心の色は？」	* 子育て中の人 子育てしていない人がバランスよくグループに入るよう配慮する 自己紹介の色の選んだ理由を紹介し合う。	
14:13 (2分)	タイトル、ねらいを読む。 エピソードを読みましゅう まず各自で読む ファシリテーターが読む。	3つの約束 (発言の平等、人の発言を肯定、発言の採擇) 言いたいことは言おう(ハラスト)	
14:15 (10分)	<考えましゅう> 設問に記入しましゅう ①、② 話し合う。		
14:25 (5分)	設問に記入しましゅう ③ 話し合いましゅう。	③はあはたか協力できるかはありせんか、という設問に変わる。	
14:30 (10分)	<考えましゅう、出し合いましゅう> 設問に記入しましゅう ① * 子育てしていない人の為の設問を作る 「子育て中の人を見て何の感じを とほありせんか」 設問に記入しましゅう ② 話し合いましゅう。	付箋紙に直接書いて模造紙に貼る。 子育てしていない人が 子育て中の親を見て 自分と違う 点、感じる点を書いてもらう。 ① ②を合わせて話し合う。 ②は設問をぬえる。「元々は生活を過すつた」は削除する。	
14:40 (8分)	話し合ふことを紹介する。(グループ) さらに考えましゅう は、ファシリテーターが まとめて話し 次へつなげる	さらに考えましゅう は、ファシリテーターが (個人的生活実態、より広くて多様な実態があることを 配慮し) ワークライフバランスについては、ファシリテーターの方で まとめて(個人的生活実態を配慮し) 話し次へつなげる。	
14:48 (2分)	学習の振り返りましゅう、 ワークシートへ書いてもらう(心言、印 象に残ったこと) ワークシート記入 終了。	印象に残ったことを心言書かしてもらう。 ワークシートの記入をお願いする。	

(メモ)

対象 (時間): (50 分程度)

教材番号「27」: 「向き合ってみて... 「仕事」と子育ての調和^{ための}」

【ねらい】

【準備物】 学習者: 筆記用具
主催者: 名刺、ワークシート、アンケート用紙、模造紙、付せん紙、マジック

時間	活動の展開	留意点	備考
10分	自己紹介、学習会の説明 アイスブレイク じゃんけん列車	グループ分けまで	
3分	タイトル、ねらいを読む エピソードを読む	三つの約束 参加者が自己役を決める	
3分	設問①②に記入して 話し合う		
8分	<考えましょ! 出し合いましょ!> ①②に記入し、話し合う	参考資料の紹介 付せん紙に記入して模造紙に貼る	模造紙と付せん紙 配布
8分	まじりの発表		
3分	<さらに考えましょ!> 「仕事と子育ての両立のためには 大印存心」を記入し	「ひろしま未来チャレンジビジョン」を簡潔に 紹介し、棒図の記入内容を変更	
5分	グループ内での話し合う 振り返りはアンケートに 反映してもらう		

6分
=

<メモ>